

豊洲5丁目連絡協議会 2008（平成20）1月～12月までの主な活動

1. 会議活動

豊洲5丁目地区開発協議会とともに第31回合同協議会(2月2日)～第41回合同協議会(12月20日)計11回開催。必要に応じて連絡協議会協議と2部構成で実施しました。

2. 開発工事に係わる対応

- 仮称豊洲5丁目プロジェクト(前年度から継続)
- 仮称豊洲5丁目開発計画(巴コーポレーション/三井不動産)(2月～)
- 防潮堤撤去工事(2月～)
- 水道幹線工事(3月～)
- 豊洲6丁目(3街区)開発対応(7月～)

3. イベントに係わる対応

- 東京湾大華火祭開催に関する中央区への対応(3月～8月)

- 東京ガス主催東電堀水上イベントの広報サポート(8月)

- 芝浦工大主催各種イベントの広報サポート

4. 地区計画/景観ガイドラインに関する活動

- 景観現況調査:現状視察の見学会実施と景観マップの作成(3月)
- 区道整備要望:豊洲5丁目地区開発協議会、東京ガス豊洲開発とともに江東区に要望書提出(8月)

5. その他

- 周辺コミュニティの協議会等の出席
- 豊洲5丁目連絡協議会規約案審議開始(4月～)
- カニ公園公衆トイレの改善(8月)
- 運河ルネッサンス協議会正式メンバーとして参加(12月)

ちよつとイップク 「映画検定のご紹介」

豊洲5丁目連絡協議会会員 近藤 道郎



メトロコープ第一豊洲の住民です。職業はフリーの編集者。キネマ旬報が平成19年以来、年に2回ほど実施している「映画検定」の最初の1級検定合格者です。年間に100～200本も観賞(京橋のフィルムセンターや古石場文化センターでの旧作も含む)しているのですから、資格を取って当たり前と考えています。もっともこの資格、所有していてもあまりメリットはありません。これまで、TVのクイズ番組出演依頼、地方の映像祭の審査員依頼などありましたが、いずれも本業とのスケジュールがかみあわず見送りました。

キネマ旬報といえば、毎年選出される日本映画と外国映画のベスト・テンは、この種のものでは最も伝統と権威があります。通常は映画評論家の投票で、1位10点、2位9点……10位1点という方式で決定されるのですが、昨年からは映画検定1級合格者の投票も加えられるようになり、さっそく私も投票しました。ちなみに、私自身の1位は日本映画が『おくりびと』(これはズバリ当たり)、外国映画が『そして、私たちは愛に帰る』(こちらは10位にも入らなかった)。

なお、豊洲が登場する映画としては、北野武監督の『監督・ばんざい』(平成19年)。晴海大橋が出てきます。

※今回から住民のみなさまからの耳寄りなお話を掲載します。是非ご寄稿にご協力ください。連絡先は以下の通りです。FAXかEメールにてお願いします。

■豊洲5丁目連絡協議会 小山
FAX:03-3533-1977
e-mail:f-koyama@tkg.att.ne.jp

■豊洲5丁目地区開発協議会 仲本
FAX:03-5441-0365
e-mail:y.nakamoto@shimz.co.jp

豊洲5丁目 街づくりニュース No.9

平成21年2月00日《発行》豊洲5丁目連絡協議会・豊洲5丁目地区開発協議会

新春のご挨拶

平成21年吉日
豊洲5丁目連絡協議会会長 小山 壽久

合同協議会(連絡協議会・開発協議会)を代表して、新春のご挨拶を申し上げます。

豊洲5丁目連絡協議会(以降「本会」と略)が私の代で活動を始めて、今年で早7年目を迎えます。当初は都からのゆりかもめ工事に伴うさわしん前交叉点撤去通告への反対運動のため、平成15年春に急遽結成しましたが、つづいて築地市場豊洲移転計画に対しての問題提起、近隣の開発工事への対応などの活動をつづけてまいりました。

とくに(通称)東京しゃれ街条例の適用地区に指定されたことをきっかけに、豊洲5丁目地区開発協議会(本地区の企業地権者の団体:以降「開発協議会」と略)と協力し、本地区の街づくり計画に着手。昨年3月に「豊洲5丁目地区地区計画」を条例化することができました。このさいには皆様の署名協力をいただき、まことに感謝しております。

本計画は江東区初となる住民サイドから立ち上げた条例として非常に意義深いものであると同時に、開発協議会に景観検討会議が設置され、合同協議会にて審議内容を紹介、意見集約を図る等、新規の建設事業にさいしては計画段階から確認を行えるようになりました。

また街並みの景観についても「景観ガイドライン(案)」の審議策定を進めながら行うこととなり、近々実施される本地区の区道整備にも本ガイドラインの審議結果が深く反映されております。

このように着実に実績を重ね、おかげさまで本会の存在も東京都や江東区行政、近隣の自治会、大

手企業、学校等の各種団体に広く認知していただけるようになりまして。これまでの活動のご評価をいただいたものと大変ありがたく思っております。

しかし存在感が増すことは、役割もまた増してまいりました。これまでの活動はいわゆる有志のボランティアに依存したものです。長期にわたり責任を持った活動を行うためにはきちんとした組織化が必要です。とくに景観検討会議の健全なる存続には欠かせないものでしょう。

このため昨年からは本会の自治会化をめざした規約策定の審議を行っております。これに伴い、住民のみなさまにあらためてご相談させていただくことが多々生じるものと思われまますが、これまでに増してご理解とご協力をお願いする次第です。

本年は経済的にけって明るいものではなさそうですが、せめてわが街は世代を超え、楽しく明るい夢が語れる街となるようにしたいと存じます。

2009/2/7 第42回合同協議会会議風景
当日は(株)巴コーポレーションの開発に関する景観検討会議内容の紹介、及び意見集約が行われました。

